みのまわりのあぶないことをしろう！(二人用)

※左の数字はページ数

※「⇒」はアニメーションの開始タイミング（パワーポイント版のみ）

１：Ａ：みなさんこんにちは。

　　私は～自己紹介～といいます。

Ｂ：私はＢです。

Ａ：今日は、身の回りのあぶないところをさがそうと思います。

Ｂ：みなさんも一緒にさがしてください。

Ａ、Ｂ：よろしくお願いします。

２：（資料配布）

Ａ：さあ、みなさんには、シートをお配りしています。くばったシートには、それぞれ身の回りの色々なあぶない場面が書いてあります。

Ｂ：そうなんですか？ちょっとみてみましょう。①は男の子がゆでたまごを電子レンジであたためようとしていますね。

ゆでたまごおいしいですよね。あたたかいともっとおいしいかな～。

えへん、②は、自転車に乗っていますね。天気予報が雨だったんでしょうか。傘をハンドルにかけていますね。

裏面に③ですね。２つのイラストですね。女の子がキッチンの高いところにビンをのせたいようです。でもとどきません。お部屋のどこからか折りたたみ椅子を運んできました。

Ａ：はい

Ｂ：あれ、それで、どこがあぶないんでしょう？

Ａ：さあ、みなさんも考えてください。あぶないところはどこかな？あぶないところをまるでかこんでください。

わからなかったらお父さん、お母さんと相談してまるをつけてください。

あとで何人かに答えを発表してもらおうと思います。

Ｂ：（シートをみながら考えるしぐさ）

３：Ａ：はじめに、①の説明です。

男の子は、ゆで卵を電子レンジで温めています。

このイラストのあぶないところ、わかる人、手をあげて

⇒正解！このゆで卵があぶないポイントです。

Ｂ：えーそうなんですかぁ！？

Ａ：あたった人にみんなで拍手しましょう。

（拍手）

Ａ：では、このイラストの続きをみてみましょう。

Ｂ：（大きくうなずく）

４：Ａ：電子レンジがたまごをあたためています。

Ｂ：あたためていますね。どうなるんでしょう…。

５：Ｂ：爆発した！

Ａ：ゆで卵が爆発してしまいました。

Ｂ：びっくりしました。まるくてかわいいたまごが爆発するなんて

６：Ａ：東京都で行ったアンケート調査では、小学生が調理に使う器具であぶない思いをした経験で一番多いのは、電子レンジによるものでした。

調査では、小学３年生の女の子が電子レンジでタマゴを温めたらレンジの中で爆発したという事例がありました。

Ｂ：知らないとびっくりしますね。電子レンジの扉も開いてしまいましたね。危ないなぁ。

７：Ａ：実際に電子レンジで卵を温めた映像を紹介しますね。

（映像放映）

Ａ：このように、たまごが爆発してしまいました。

Ｂ：あとかたもなく飛び散っていましたね。生卵もこうなるんですか。

Ａ：生卵もゆでたまごも爆発します。

Ｂ：なぜなんでしょう？私にもわかるようにやさ～しくおしえてもらえますか？

Ａ：たまごの黄身は「まく」でおおわれているんですが、あたためられると黄身が「まく」を中から押し始めます。そのうち「まく」は耐えきれなくなって爆発してしまうんです。

（ＢはＡの説明を手振りで具現化）

８：Ｂ：そうだったんですか～。

Ａ：「から」がついている場合も同じようなことがおきます。Ｂさんも気をつけてね。

Ｂ：はい。気をつけます！

Ａ：では、みんなと約束です。

電子レンジでたまごなど「まく」や「から」のついたものを温めるのはやめよう。

みんなで一緒に言ってみましょう。

Ａ、Ｂ：せーの「電子レンジでたまごなど「まく」や「から」のついたものを温めるのはやめよう。」！

９：Ｂ：もりあがりましたね。

Ａ：そうですね。では、次に、②自転車に乗っている子です。

このイラストのあぶないところがわかった人、手をあげてください。

⇒正解！このハンドルにかけた傘があぶないポイントです。

Ｂ：あたった人にみんなで拍手！（拍手）

でも、どうして危ないんですか？

Ａ：はい。このイラストのつづきをみてみましょう。

１０：Ａ：傘が揺れて自転車の前のタイヤにはさまってしまいました。

１１：Ａ：急に車輪が止まって、男の子は転んでしまいました。

Ｂ：タイヤに棒とかはさまると、完全に止まってしまいますよね。

１２：Ａ：小学生が屋外で使う製品であぶない思いをした経験で一番多いのは、自転車によるものです。

東京都の調査では、小学校5年生の男の子が傘を引っかけて走っている時に車輪にからまって転んだ、小学6年生の男の子が自転車のかぎに大きなキーホルダーをつけていたら車輪にからまったなどの事例がありました。

Ｂ：かぎのキーホルダーもからまりそうですね。

１３：Ａ：傘が自転車の前輪にからまってしまった映像を紹介します。

（映像放映）

Ａ：このように、傘が自転車にひっかかると、前のタイヤがロックされてしまいます。

１４：Ａ：前のタイヤがロックされると、さっき見てもらったイラストのように、自転車が回転して、前のめりに転んでしまいます。

Ｂ：私もハンドルに袋とかぶらさげてしまうんですよ。

Ａ：あぶないのでやめてくださいね。

Ｂ：はい

１５：Ａ：では、みんなと約束です。自転車に乗るときは、タイヤにはさまるものを置かないようにしましょう。

Ｂ：（うなづく）

Ａ：みんなで一緒に言ってみましょう。

Ａ、Ｂ：せーの「自転車に乗るときはタイヤにはさまるものをおかない！」

１６：Ａ：では最後、③の説明です。

この女の子は、ビンを上のたなにいれようとしていますが、たなに届かなくて困っています。

Ｂ：何か踏み台が必要ですよね。

１７：Ａ：女の子は、踏み台にするためにおりたたみイスをはこんできました。

このイラストのあぶないところがわかった人、手をあげて。

⇒正解です。この折りたたみイスがあぶないポイントです。

Ａ、Ｂ：あたった人にみんなで拍手。（パチパチ）

Ａ：では、このイラストのつづきをみてみましょう。

１８：Ａ：いすを踏み台にしてビンを棚にいれようとした女の子は、椅子から落ちてしまいました。

Ｂ：折りたたみ椅子がとじてしまったんですね。

１９：Ａ：そうなんです。小学生が子供部屋で使う製品であぶない思いをした経験で一番多いのは、折りたたみイスによるものです。

都の調査では、小学校1年生の男の子が折りたたみイスの上に立った時バランスを崩して倒れた事例や、小学2年生の女の子が折りたたみイスを出して高い所のものをとろうとした時、いすが閉じてひっくり返ってしまったなどの事例がありました。

Ｂ：大人でもついついやってしまいます。

２０：Ａ：じゃＢさんも、みんなと約束です。折りたたみ椅子を踏み台にするのはやめましょう。

Ｂ：はい

Ａ：みんなで一緒に言ってみましょう。

Ａ、Ｂ：せーの「折りたたみイスを踏み台にするのはやめよう！」

２１：Ａ：今回紹介した事例は、いずれも小学生の事故防止ガイドに記載されています。

ぜひおうちにかえってから読んでいただければと思います。

Ｂ：はい、読みます。

２２：Ａ：最後に、今日学んだことをおさらいしましょう。

Ａ、Ｂ：電子レンジで卵など膜や殻のついたものを温めるのはやめよう！

２３：Ａ、Ｂ：自転車に乗るときは、タイヤにはさまるものを置かないようにしよう。

２４：Ａ、Ｂ：折りたたみイスを踏み台にするのはやめよう。

２５：Ａ：以上で説明は終わりです。

おうちに帰ってからも、ぜひ親子でまわりのあぶないポイント考えて、

事故を防止してもらえればと思います。

Ｂ：そうですね！

Ａ：最後まで聞いてくれて

Ａ、Ｂ：ありがとうございました。